

タイ国政府観光庁、タイ訪問に際しての注意事項を公表
～暗めの色、礼節をもった衣服の着用を推奨～

JETRO バンコク事務所

タイ国政府観光庁(TAT: Tourism Authority of Thailand)は10月15日、プミポン・アドゥンヤデート国王の逝去に伴う、タイ訪問に際しての注意事項をウェブサイトに掲載した。

<https://www.thailandtravel.or.jp/news/detail/?no=1996>

同発表によれば、現在タイでは、国を挙げての服喪期間となっていること受け、外出時には可能な限り暗めの色の礼節を持った衣服を着用すること、などが推奨されている。

また、バーやナイトクラブなどの娯楽施設に関しては、政府が営業の自制について協力を求めているものの、営業禁止ではなく、営業自体の決定は各店舗に委ねる、とされている。

タイ政府観光庁が発表した注意事項は以下のとおり。(同ウェブサイトからの抜粋)

- 多くのタイ国民は弔意を表すため、黒または白の衣服を着用しています。これは強制ではありませんが、可能であれば外出時には暗めの色の礼節をもった衣服をお召しになる事をお勧めします。
- 不謹慎な言動はご遠慮下さい。
- 観光アトラクションは平常通りですが、国葬の執り行われるワット・プラケーオ(エメラルド寺院)及び王宮は入場観光ができません。
- 政府はバーやナイトクラブなどの娯楽施設に対し営業の自制について協力を求めています。なお、営業についての決定は各店舗に委ねられています。
- 多くの伝統・文化行事は予定通り行われますが、お祝い事はプミポン・アドゥンヤデート国王陛下を偲ぶのに相応しい内容に変更される可能性があります。
- 全ての交通機関、銀行、病院、その他の公共サービスは平常通りご利用いただけます。
- 各関連機関により、タイ国民及びタイをご訪問の皆様の旅行を円滑にするため、タイ全土で安全基準の引き上げを実施しています。

以上